

「超」スマート農業への 農業気象学の挑戦

agromet
Summer School

Let's
challenge



応募期限 6/29

2018年

8月30日(木)9:00~31日(金)12:00頃

スマート農業とは、ICT、ロボット、ビッグデータ等を利用した、省エネ・高品質高生産を目指す農業です。気象・環境と農業生産の関係を解明し、環境の改善・調節技術を開発してきた農業気象学の成果は、スマート農業に今後一層活用されると期待されています。また、気候変動予測に関するデータは増え続けており、ビッグデータを用いた農業気象学の知見は、将来の温暖化環境へのスムーズな適応に必要不可欠です。この1泊2日のサマースクールでは、学生や若手研究者を対象に、講義、ディスカッション、見学会などを通じて、フィールド農業と施設農業の両面から、農業気象学に基づいたこれからのスマート農業について考えます。興味のある皆様の参加をお待ちしています。

F1 会場

筑波研修センター（茨城県つくば市天久保1-13-5）
<http://www.meikei.or.jp/~center/>

F2 費用

参加費(宿泊費含む):4,000円
懇親会費:4,000円程度

F3 講演者・タイトル

- 荊木 康臣 先生(山口大学)
「植物生産のスマート化に向けたコンピュータビジョンと人工知能」
- 廣田 知良 先生(農研機構 北海道農業研究センター)
「農業気象研究の魅力 ―ワクワクする基礎研究から世の中に役立つ普及まで―」
- 福本 真司 先生(富士通株式会社)
「日本の未来を創る, スマート農業の実践
~富士通スマートアグリカルチャー事業の取り組み~」

F4 参加申込・お問い合わせ先

農業気象サマースクール実行委員会 事務局
E-mail:
agrmnet_summerschool_2018@kankyo.en.a.u-tokyo.ac.jp

主催:
日本農業気象学会(農業気象サマースクール実行委員会)
協賛:
東京大学大学院農学生命科学研究科アグリコクーン農学における情報利用研究FG
日本農業気象学会リモートセンシング・GIS研究部会



<http://agrmnet.jp/groups/young/> 詳細はウェブサイトをご覧ください